八王子市における
成果報酬型官民連携モデル事業の取り組み

平成29年度事業（中間）報告

八王子市医療保険部成人健診課

八王子市の概況

位　置	東京都心から西へ約40km、新宿から電車で約40分
面　積	186.38㎢（南北11km×東西24km）
人　口	562,036人（住民基本台帳　平成30年3月末日現在） 577,513人（国勢調査集計結果　平成27年10月1日現在）
プロフィール	・大正6年の市制施行から昨年（平成29年）で100年 ・平成27年4月からは、東京都初の中核市 ・21の大学を抱えた学園都市

八王子市のがん検診実施状況（平成30年度）

	胃がん		肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
	エックス線検査	内視鏡検査				
対象	40歳以上	50～68歳 偶数年齢	40歳以上	40歳以上	40歳以上	20歳以上
内容	胃部X線検査 （バリウム使用）	内視鏡検査	胸部X線検査 ※必要な場合喀痰検査	便潜血検査	マンモグラフィと 視触診	頸部細胞診
検診間隔	毎年	2年に一度	毎年	毎年	2年に一度	毎年 （2年に一度を推奨）
自己負担額	1,100円	2,800円	900円	700円 ※2（500円）	1,800円	900円
検診実施形態	集団 （検診機関読影後、 医師会にて二重読影）	個別 （二重読影）		個別	個別 （二重読影）	個別
委託形態	八王子市医師会					
受診方法	市報にて提示 →申込み	申込みにより 受診券を発行→ 医療機関に申込み	医療機関に直接申込み→医療機関からコールセンターへ受診資格の問合せ			
その他	40・50歳を対象に 胃がんリスク検査を実施 （平成26～29年度） ※1 ピロリ菌抗体値及び ペプシノゲン値を測定 （X線検診会場にて採血）			※2　特定健診 とのセット受診 の場合割引		HPVの有用性を 図る国の検査検証 事業に都内で唯一 参加 （平成25～27年度） 平成34（2022）年度 までの追跡調査

※1　国立がん研究センター、八王子市医師会
との共同で検査検証事業として実施。
今後、10年間の後追いを予定

1　成果報酬型官民連携モデル事業の概要

2　なぜ、八王子市の大腸がん検診で実施するのか

3　受診率向上策として取り組む意義

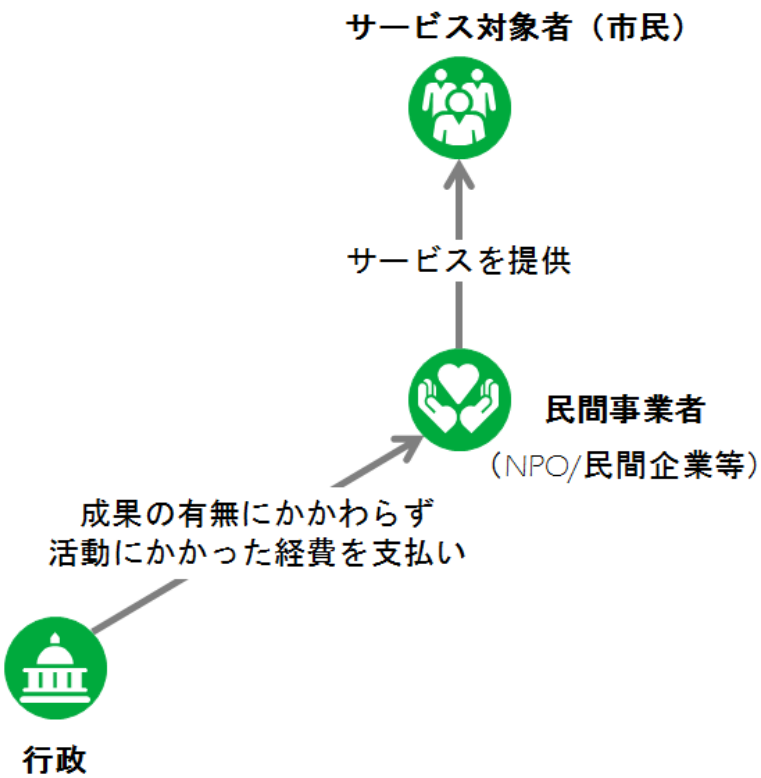
4　成果指標・支払表の設定

5　モデル事業（介入プログラム）の内容

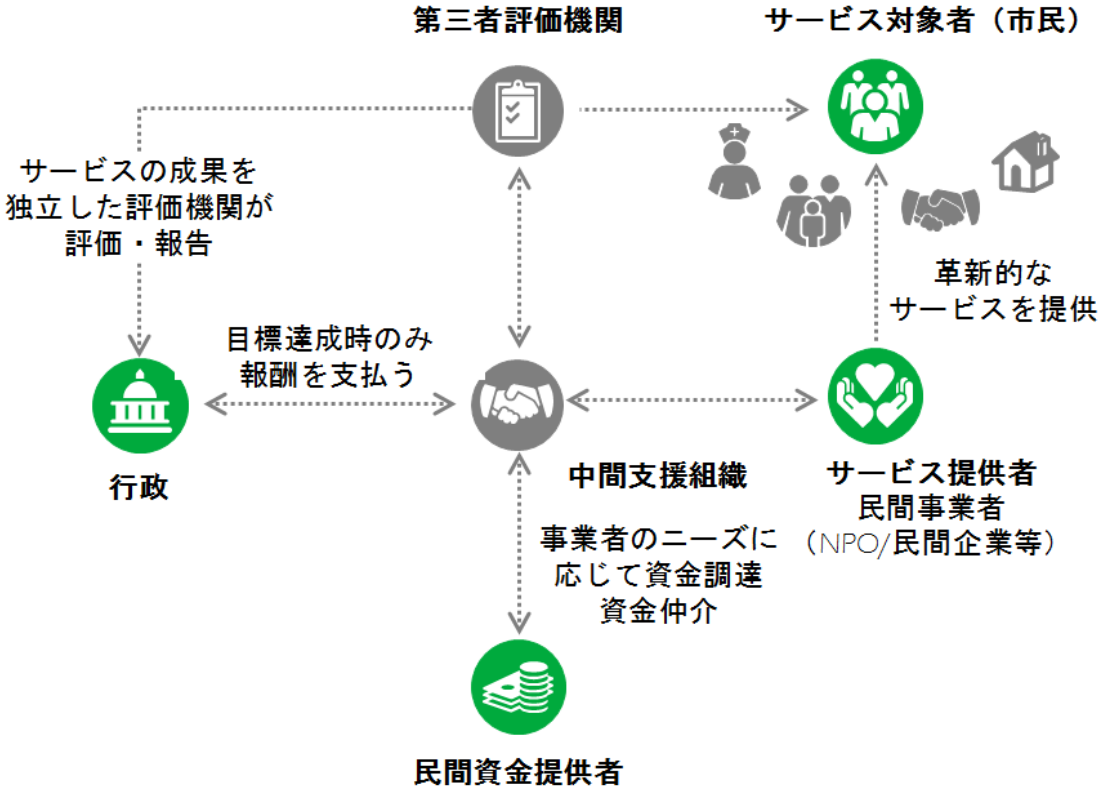
6　「八王子市」として取り組む意義

7　今後の展開、課題

これまでの委託事業との違い



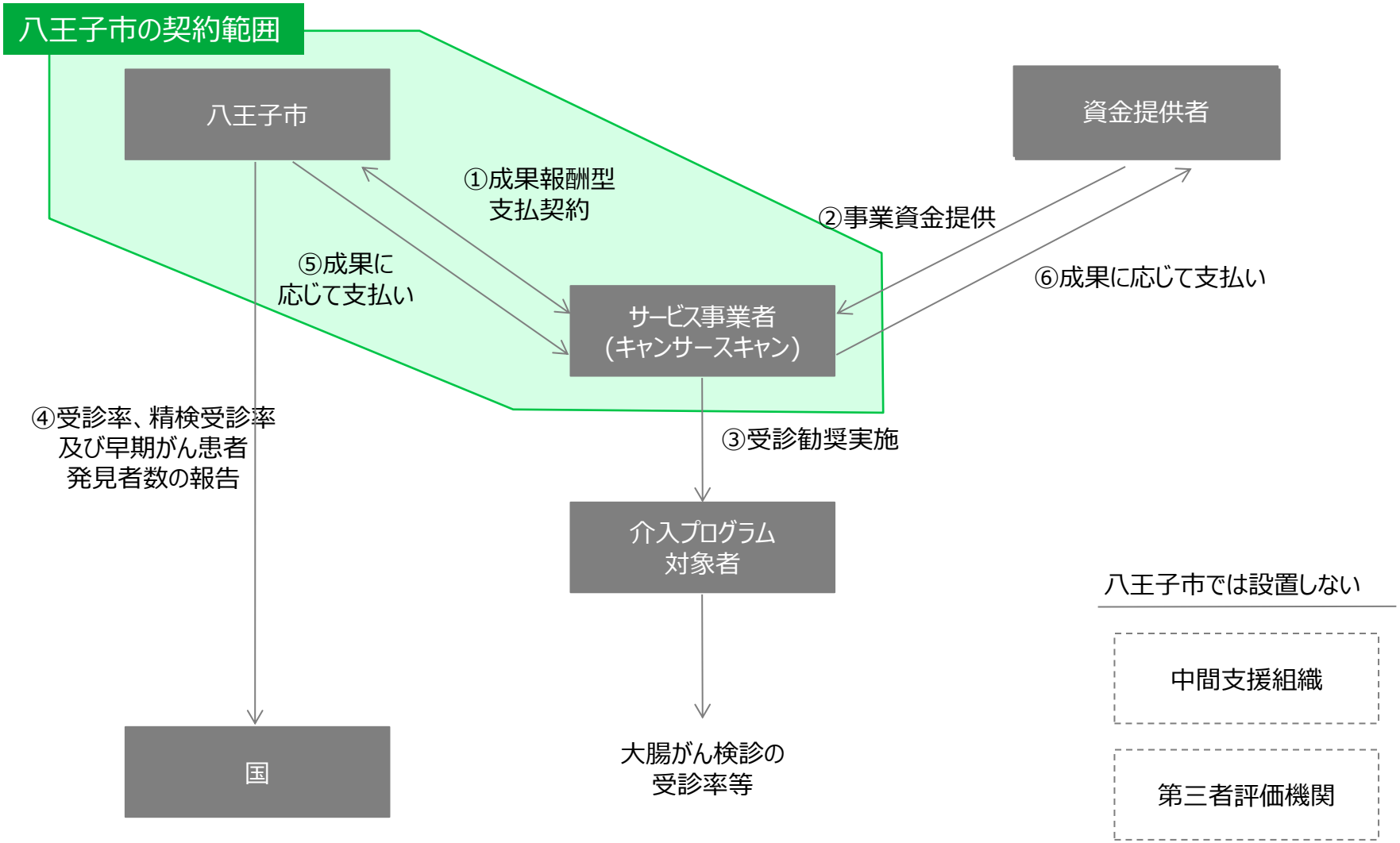
【従前】



【成果報酬型官民連携モデル事業】
※一般的SIBモデル

K-three　幸地正樹氏作成資料より転載・加筆

八王子市の成果報酬型官民連携モデル事業の全体像



K-three　幸地正樹氏作成資料より転載・加筆

1　成果報酬型官民連携モデル事業の概要

2　なぜ、八王子市の大腸がん検診で実施するのか

3　受診率向上策として取り組む意義

4　成果指標・支払表の設定

5　モデル事業（介入プログラム）の内容

6　「八王子市」として取り組む意義

7　今後の展開、課題

平成28年度　精度管理状況
（地域保健・健康増進事業報告）

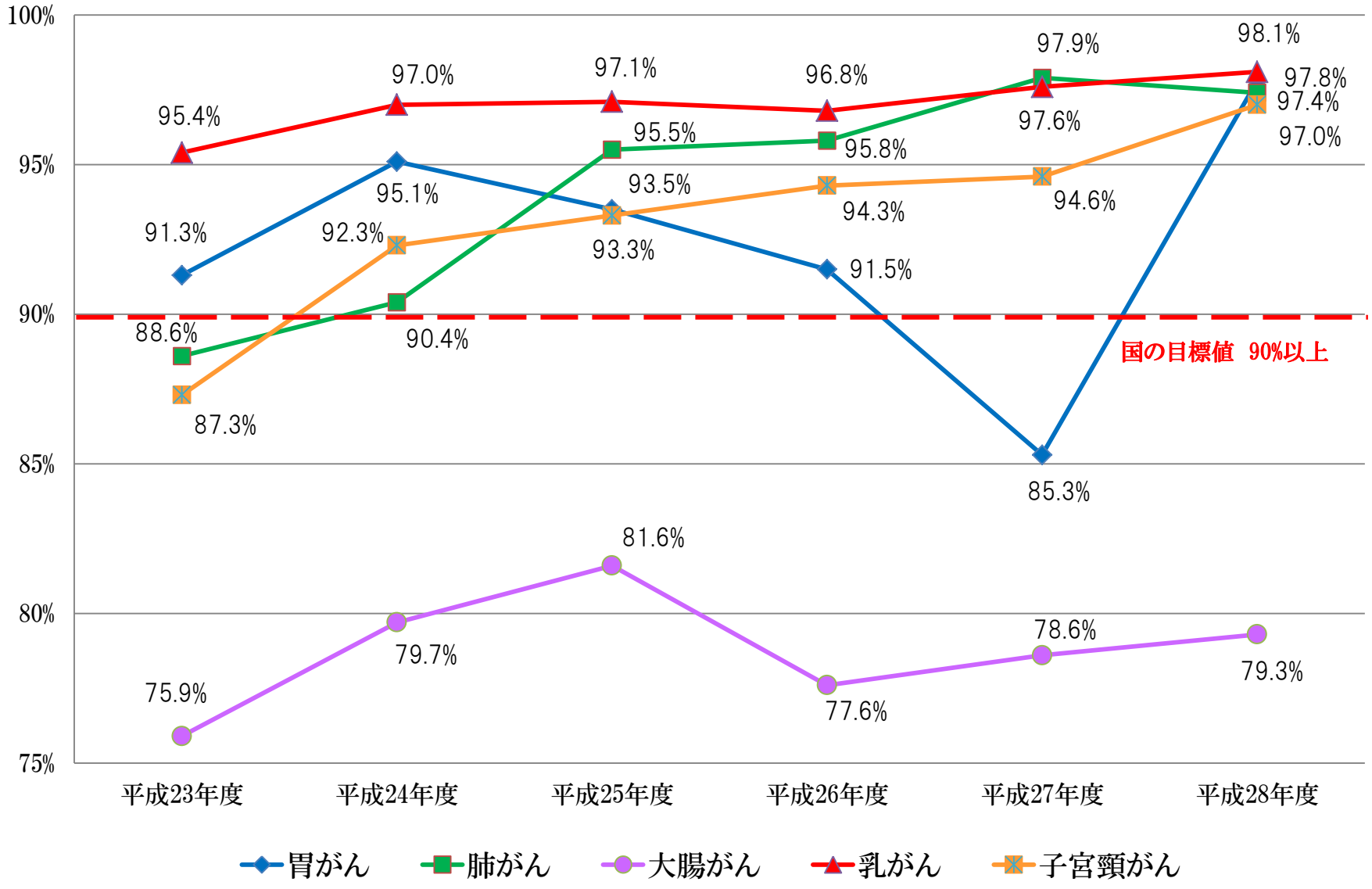
		胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
①　受診率 がん検診を受けた者	目標値	40.0%			50.0%	
	八王子市	4.0%	8.7%	18.1%	25.9%	28.7%
②　要精検率 がん検診を受けた者のうち、要精検となった者	許容値	11.0%以下	3.0%以下	7.0%以下	1.4%以下	11.0%以下
	八王子市	0.6%	1.0%	6.2%	2.3%	4.1%
③　精検受診率 要精検のうち、精密検査を受診した者	目標値	90.0%以上				
	許容値	70.0%以上				80.0%以上
	八王子市	97.8%	97.4%	79.3%	97.0%	98.1%
④　精検未受診率 要精検のうち、精密検査を受診しなかった者	目標値	5.0%以下				
	許容値	20.0%以下				10.0%以下
	八王子市	0.0%	2.2%	17.9%	1.5%	1.1%
⑤　精検未受診・未把握率 要精検のうち、精密検査を受診しなかった、または受診したかどうか不明である者	目標値	10.0%以下				
	許容値	30.0%以下	20.0%以下	30.0%以下		20.0%以下
	八王子市	2.2%	2.6%	20.7%	3.0%	1.9%
⑥　陽性反応的中度 要精検のうち、実際にがんであった者	許容値	1.0%以上	1.3%以上	1.9%以上	4.0%以上	2.5%以上
	八王子市	10.9%	8.3%	5.0%	0.2%	8.8%
⑦　がん発見率 検診受診者のうち、実際にがんであった者	許容値	0.11%以上	0.03%以上	0.13%以上	0.05%以上	0.23%以上
	八王子市	0.06%	0.08%	0.31%	0.005%	0.36%

目標値（全国上位10%）クリア項目

許容値（全国上位70%）クリア項目

※受診率は、40～69歳以下（子宮頸がんは20～69歳以下）、東京都の精度管理事業評価に基づき、対象人口に、対象人口率を乗じた数値を分母とし、当該年度受診者数を分子（乳がん・子宮頸がんは【前年度受診者+当該年度受診者－2年連続受診者】）として算出。

八王子市各種がん検診精密検査受診率の推移



検診の適切な実施、質の保証
～検診委員会（二重読影）にて全症例をチェック～

年度末年	性	受診日.	番	二重読	総合判定	精検実施日	精検実施医療機関	疾患名(2015)	結果(2015)	備考(201	原発性のが	原発性がん確定者	特記事項(2015)
69歳	女	2015. 7.10	159	E1	要精検	2015. 8.31	東京医科大学八王子医療センター		がん	報告書	○	Ⅳ期	末梢型、Ⅳ期。cT4N3
77歳	男	2015. 9. 3	162	E1	要精検	2015. 9.28	東海大学八王子病院		異常なし	報告書			精検完了H27.10.2
66歳	女	2015.10. 2	162	E1	要精検	2015.10.17	東京医科大学八王子医療センター		異常なし	報告書			手術しない。精検完了
46歳	男	2015. 8.27	163	E1	要精検	2015.10.19	八王子共立診療所	その他	その他疾患	報告書			要経過観察6ヵ月後。
71歳	女	2015.11. 9	163	E1	要精検								
81歳	女	2015. 6.30	165	E1	要精検	2015. 7.17	北野台病院	その他	その他疾患	報告書			対側右葉に間質内変
86歳	男	2015. 8.15	165	E2	要精検	2015. 9. 2	北野台病院		異常なし	報告書			精検完了27.9.2
78歳	女	2015. 9. 3	165	E1	要精検	2015. 9.12	北野台病院		異常なし	報告書			精検完了27.9.12
68歳	女	2015.11. 2	167	E1	要精検	2015.12.18	市内医療機関		診断未定	報告書			要経過観察。6ヵ月後
79歳	男	2015.10.26	167	E2	要精検								
81歳	男	2015.11. 2	167	E1	要精検								
79歳	男	2015. 9. 9	167	E1	要精検	2015.11. 6	東京医科大学八王子医療センター		異常なし	報告書			
72歳	男	2015. 9.28	169	E1	要精検	2015.11.16	市外医療機関(その他)	その他	その他疾患	報告書			慢性気管支炎疑い。
85歳	女	2015.10.17	174	E1	要精検	2015.12. 4	東京医科大学八王子医療センター		がん	報告書	○	Ⅰ期	末梢型、1期A、cT1aN
68歳	女	2015. 7.15	174	E1	要精検	2015. 9. 8	東海大学八王子病院		異常なし	報告書			
74歳	男	2015. 7. 8	180	E1	要精検	2015. 8.22	クリニック田島		異常なし	報告書			精検完了H27.10.31
88歳	女	2015. 7.17	180	E1	要精検	2015. 9. 1	東京医科大学八王子医療センター	肺炎	その他疾患	報告書			限局性肺炎。精検未
73歳	男	2015. 9.15	180	E1	要精検	2015.10.31	クリニック田島		異常なし	報告書			精検完了H27.11.9
60歳	女	2015. 9.18	186	E1	要精検	2015.10.19	東海大学八王子病院		異常なし	報告書			
68歳	女	2015.10.15	190	E1	要精検	2015.11. 5	東京医科大学八王子医療センター	陳旧性炎症	その他疾患	報告書			手術しない。精検完了
63歳	女	2015. 9.30	190	E1	要精検	2015.10.17	東京医科大学八王子医療センター	陳旧性炎症	その他疾患	報告書			手術しない。精検完了
76歳	女	2015. 9.10	190	E1	要精検	2015.10. 6	東海大学八王子病院		異常なし	報告書			

学識経験者である第三者を交えた検討会の開催
～がん検診専門懇談会～

精検結果把握の仕組み

- 医師会から精密検査協力医療機関を推薦
- 受診時に検診結果と精検結果を医師会と市が活用することの同意を得る
- 要精検者に精密検査協力医療機関一覧と精密検査依頼書・結果報告書を配付
- 要精検者は、検診結果のパンチデータで把握
- 精検結果は、精密検査機関⇒市⇒八王子市医師会⇒一次検診実施医療機関で把握
- 未把握分は受診勧奨兼結果把握アンケート、
  精度管理専門の看護師から直接電話などでフォロー
- アンケートで結果を捕捉した数が多い検診実施医療機関、精密検査協力医療機関には、医師会を通じ、協力依頼

精密検査の結果を把握する仕組み

医師会から精密検査協力医療機関を推薦

- 受診時に検診結果と精検結果を医師会と市が活用することの同意を得る
- 要精検者に精密検査協力医療機関一覧と精密検査依頼書・結果報告書を配付
- 要精
- 精検
- 未把握
- アンケート

精密検査が必要な方へ

今回受診されました大腸がん検診の結果、更に詳しい検査［精密検査］が必要です。

あなたの希望する医療機関で、早い時期に精密検査を受診されることをお勧めします。（裏面に八王子市で精密検査にご協力いただいている医療機関を掲載してあります。）診療費等は自己負担となりますので、健康保険証と、お渡しした書類をお持ちください。

受診の際は予約の必要な医療機関もありますので、お電話でご確認ください。

なお、精密検査の結果につきましては、医療機関から市に結果をお知らせいただくよう、ご協力をいただいております。市と八王子市医師会が受診歴の管理、検診精度の向上のために記録し、活用させていただきます。個人を特定して公表するような資料ではありません。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

八王子市医師会
電話 042－642－0181
八王子市医療保険部成人健診課
電話 042－620－7428

平成２７年度　八王子市大腸がん検診　精密検査実施医療機関一覧

地区	医療機関名	所在地	電話
本庁	山高クリニック	千人町2-3-10　エクセレント2F	669-8288
	倉田医院	千人町3-17-20	661-7915
	福圓外科医院	平岡町1-3	622-4061
	右田病院	暁町1-48-18	622-5155
	八王子クリニック新町	新町7-10　シルバーヒルズ八王子1F、2F	643-1321
	仁和会総合病院	明神町4-8-1	644-3711
	清智会記念病院	子安町3-24-15	624-5111
	おおじま内科医院	子安町4-15-14	620-7755
	つばさクリニック	旭町1-1　セレオ八王子北館9F	686-3725
	おなかクリニック	旭町12-12	644-1127
	八王子消化器病院	万町177-3	626-5111
	富士森内科クリニック	台町2-14-20	621-0300
	倉橋胃腸病院	台町2-25-21	623-5281
	八王子山王病院	中野山王2-15-16	626-1144
	喜田内科胃腸科クリニック	中野上町5-5-3　1F	625-6661
	伊藤内科消化器医院	大和田町4-15-14	642-6734
浅川	はざま中山クリニック	東浅川町709-1　新都市はざまビル1F	668-3500
	白鳥内科医院	高尾町1580	662-3220
由木	おおぬき内科クリニック	堀之内2-6-5	678-2771
	多摩肛門科病院	堀之内3-9-14	674-1700
南大沢	御殿山クリニック	鑓水428-160	677-1500
	南大沢メディカルプラザ	南大沢2-25　フォレストモール3F	670-2460
	東郷クリニック	南大沢2-27　フレスコ南大沢4F	670-7727
	南大沢クリニック	南大沢5-14~4-1	674-7766
横山	松本消化器科内科クリニック	散田町3-8-24　茂和ビル3F	667-1123
	南多摩病院	散田町3-10-1	663-0111
	金井外科胃腸科	めじろ台2-10-1	663-4846
館	永生クリニック	椚田町588-17	661-7780
	八九十会高尾病院	館町559-1	664-5833
	東京医科大学八王子医療センター	館町1163	665-5611
元八王子	東京天使病院	上壱分方町50-1	651-5332
加住	山下内科クリニック	左入町434-1	691-1737
由井	小林内科クリニック	七国4-9-10	686-0067
北野	北野台病院	打越町1068	637-1001
石川	東海大学八王子病院	石川町1838	639-1111

平成27年3月現在

※医療機関については変更になる場合がありますので、受診の前にご確認ください。

精密検査の結果を把握する仕組み

要精検者に精密検査協力医療機関一覧と
精密検査依頼書・結果報告書を配付

- 要精検者は、検診結果のパンチデータで把握
- 精検結果は、精密検査機関⇒市⇒八王子市医師会⇒一次検診実施医療機関で把握
- 未把握分は受診
- アンケートで結果
- 医師会から精密検査
- 受診時に検診結果と精

【4枚複写】

【4枚目】精密検査結果報告書

【3枚目】精密検査結果報告書

【2枚目】精密検査結果報告書

【1枚目】精密検査依頼書

市　役　所　用

医　師　会　用

一次医療機関用

精密検査実施医療機関用

平成27年度　乳がん検診精密検査依頼書

精密検査実施医療機関　御中

区市町村名　　八王子市

下記の方は乳がん検診の結果、精密検査を要するのでよろしくお願いいたします。
なお、御高診の上、該当項目を記入し、結果報告書を八王子市にご回答ください。

ふりがな		
氏　名	生年月日　明・大・昭　　年　　月　　日	年齢　　歳
住所		

精密検査の結果を把握する仕組み

精検結果は、精密検査機関　⇒　市
　⇒　八王子市師会　　⇒　一次検診実施医療機関で把握

未把握分は受診勧奨兼結果把握アンケート、
精度管理専門の看護師から直接電話などでフォロー

アンケートで結果を捕捉した数が多い検診実施医療機関、
精密検査協力医療機関には、医師会を通じ、協力依頼

医師会から精密検査協力医療機関を推薦

受診時に検診結果と精検結果を 医師会と市が活用す

要精検者に精密検査協力医療機関一覧と精密検査依頼

要精検者は、検診結果のパンチデータで把握

乳がん検診精密検査アンケート回答書

必要項目に記入及び該当項目に○印をつけてください。

1．　受診済
精密検査受診日：平成　　年　　月　　日（頃）

受診医療機関名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

検査方法
マンモグラフィ・エコー・針生検・その他（　　）

受診結果について
・異常なし
・経過観察中・検査中
・異常あり［　がん、　がんの疑い、　その他疾患（　　）］

2．　これから受診する予定
精密検査受診予定日：平成　　年　　月　　日（頃）

医療機関名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3．　受診する予定はない
理由
・多忙のため
・毎年同じ判定であるため
・その他　（　　）

ご協力ありがとうございました。

子宮頸がん検診における細胞診と HPV 検査併用の有用性に関する研究

－自治体参加要件－

○　検診受診歴や、精密検査受診歴を把握、かつ、精密検査受診率が高い。
○　個別受診勧奨・再勧奨が毎年実施できる。
　・・・等々の条件を満たし、厚生労働省が認めた自治体

登録数（自治体別）

上位10自治体

細胞診単独群

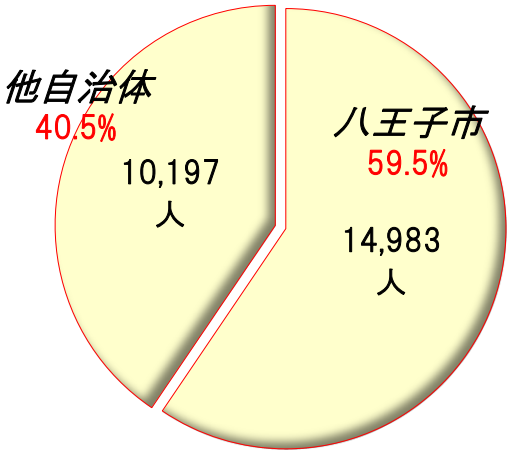
順位	自治体	登録数
1	八王子市	9,413
2	西条市	982
3	川崎市	915
4	新居浜市	500
5	佐世保市	295
6	岩出市	288
7	鳥取市	279
8	伊那市	193
9	松前町	190
10	里庄町	167

HPV検査併用群

順位	自治体	登録数
1	八王子市	5,505
2	奈良市	755
3	川崎市	730
4	佐世保市	699
5	松戸市	579
6	春日市	338
7	西条市	275
8	富士宮市	245
9	鳥取市	211
10	岡崎市	197

※2016年10月20日現在入力済の検診データより
※参加要件不足の方65名を除く

－八王子市構成比－



同意参加者総数　25,180名

（平成28年11月10日現在）

子宮頸がん検診における細胞診とHPV 検査併用の有用性に関する研究研究進捗報告会
研究代表者　青木大輔慶應義塾大学医学部産婦人科教授資料より転載・一部加筆

導入の経過

平成27年末

都市戦略部、総合経営部、医療保険部の管理職、担当者がSIBに関わる勉強会に参加

期を同じくして、経済産業省ヘルスケア産業課から、がん検診をフィールドに
SIBモデル事業実施の要請

※本市は、がん検診分野において、八王子市医師会協力のもと、全国的に高い評価を受けており、国立がん研究センターや厚労省とも協力関係あり

➠ 庁内検討を開始

平成28年５月

施行実施について、都市経営戦略会議付議 ➠ 提案どおり承認

※ あくまでも市民の健康増進を図る上での手法の一つ。金融色が前面に出ないように

平成28年 ５～10月

経産省（委託先：ケースリー）、日本総研、民間事業者（キャンサースキャン）、
八王子市（都市戦略部、総合経営部、財務部、医療保険部）で10回程度の会議

平成28年10月

平成29年度予算要求

➠ これまで担当所管で受診率・精度管理向上事業に取り組んでいる予算の範囲内で実施

なぜ「大腸がん」なのか

大腸がん

部位別死亡数	男性３位、女性１位 肥満、飲酒、喫煙といった生活習慣が原因の一つ
大腸がん検診	胃がん、肺がん、乳がん・子宮頸がん（女性）を含めた５がんの検診は、住民の死亡率を減少させ、かつ、実施する利益が不利益を上回るため、国の指針により実施が推奨されている（＝科学的根拠）
検査方法	便潜血検査。陽性になった場合には（要精密検査）、原則、内視鏡検査を受ける
費用対効果	身体に与える物理的負担や影響が小さく、簡便。また、検査コストが安価であるため、費用対効果を求めやすい 多くの市民に受診していただき、その結果、早期がん罹患者を発見、早期治療につなげられれば、医療費の適正化、削減効果が期待できる
課題	簡便な検査方法であるため、がんとの結びつきを想像しにくく、要精密検査となっても精密検査を受診する者は、他のがん検診に比べて低い傾向 実際に、八王子市でも国が目標値と定める90%以上とは10%以上の乖離があり、この数字には改善の余地がある。取り組むべき喫緊の課題

1　成果報酬型官民連携モデル事業の概要

2　なぜ、八王子市の大腸がん検診で実施するのか

3　受診率向上策として取り組む意義

4　成果指標・支払表の設定

5　モデル事業（介入プログラム）の内容

6　「八王子市」として取り組む意義

7　今後の展開、課題

八王子市の大腸がん検診受診率向上策（平成23年度～）

ソーシャルマーケティング手法を活用した受診勧奨資材の一例

便潜血検査キットの同封・配付事業（平成26年度～）

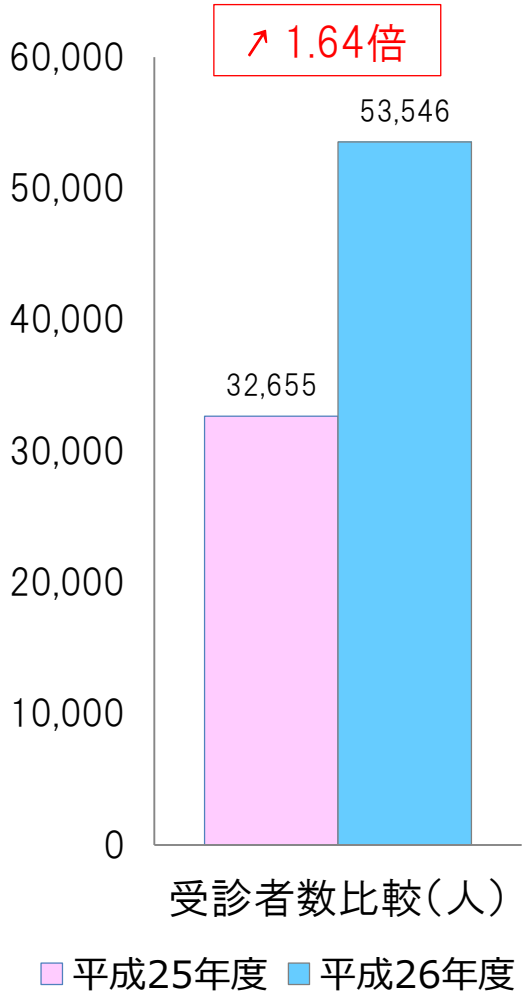
- 大腸がん検診無料クーポン券対象者
- 健康診査昨年度受診者

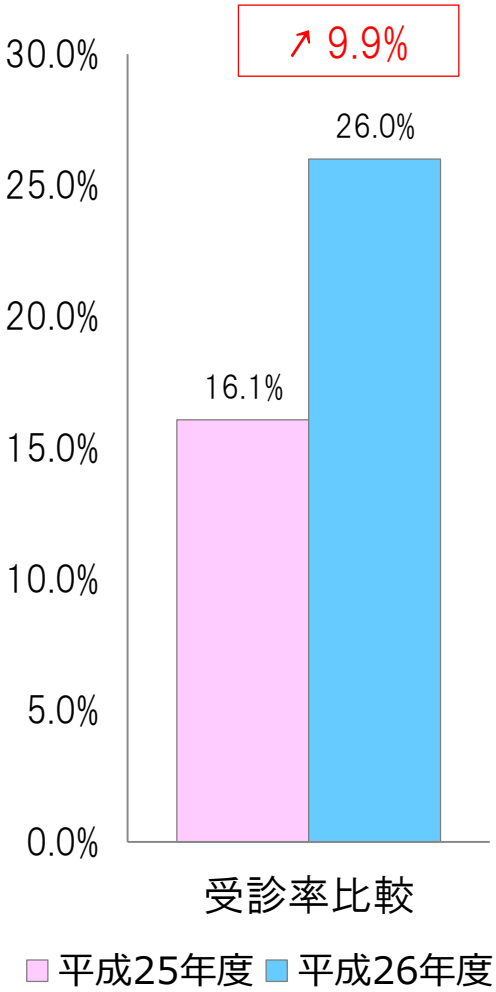
≒90,000個を同封

- 健康診査と大腸がん検診の

セット受診を開始

自己負担額　700円から500円に減額





所管課としての葛藤・首肯

結果は出してきた自負…

毎年様々な企画を練り、アウトカムでないものの、アウトプットとしては、○%の受診者増は確認済

継続受診者の確保

平成28年度からは、前年度大腸がん検診を受診すると、自動的に翌年度検査キットが送付される体制に。現状では、11万人の特定健康診査対象者のうち、4.5万人の受診券に検査キットを同封

受診意欲の低い市民への対策

継続的に受診できる環境を整備しつつ、残りの6.5万人は受診に至っていない状況。そもそもこの方々は受診意欲が低く、これ以上、税金を使っての介入は難しい一方で、検診未受診の市民の医療費は増加していく

成果報酬型官民連携モデル事業の活用

この状況を解決するため、未受診者に対し、民間事業者はこれまでとは異なるアプローチにより受診率向上策を実施。市は、その成果に応じ（成果があったときにだけ）報酬＝委託料を支払う

1　成果報酬型官民連携モデル事業の概要

2　なぜ、八王子市の大腸がん検診で実施するのか

3　受診率向上策として取り組む意義

4　成果指標・支払表の設定

5　モデル事業（介入プログラム）の内容

6　「八王子市」として取り組む意義

7　今後の展開、課題

前提となる成果指標のベース

大腸がん発見時の医療費削減効果（がん発見後３年間）

※平成24年６月から平成28年８月までの本市レセプトデータ（=実医療費）から算出

早期以外の大腸がん患者の医療費

2,527,398円

－

検診経由早期大腸がん患者の医療費

654,884円

＝

早期がん発見時の医療費削減効果

1,872,514円

成果指標の設定

「受診率」、「精密検査受診率」、「早期がん発見者数」 の３点とする

がん検診事業の本質を鑑み、指標の比重を八王子市として、**１：２：１**に設定する

※平成27年度実績ベース

上限ケース　　標準ケース　**【大腸がん検診受診率】**

19.0%	18.0%	17.0%	16.0%	15.0%	14.0%	13.0%	12.0%	11.0%	10.0%	9.0% ※	
2,440	2,366	2,292	**2,218**	1,109	0	0	0	0	0	0	千円
74千円/+1%			1,109千円/+1%		支払なし						

※平成26年度実績ベース

【精密検査受診率】

87.0%	86.0%	85.0%	84.0%	83.0%	82.0%	81.0%	80.0%	79.0%	78.0%	77.0%※	
4,880	4,736	4,588	**4,440**	3,700	2,960	2,220	1,480	740	0	0	千円
148千円/+1%			740千円/+1%						支払なし		

【早期がん発見数】

11人	10人	9人	8人	7人	6人	5人	4人	3人	2人	1人	
2,441	2,366	2,291	**2,216**	1,939	1,662	1,385	1,108	831	554	277	千円
75千円/+1%			277千円/+1%								

本市にもたらされる医療費適正化効果想定

単位：千円

受診率 精検受診率	19.0%	18.0%	17.0%	16.0%	15.0%	14%以下
87.0%	上限ケース 16,840 9,761 **7,079**	16,840 9,687 **7,153**	16,840 9,613 **7,227**	15,309 9,464 **5,845**	15,309 8,355 **6,954**	15,309 7,246 **8,063**
86.0%	15,309 9,542 **5,767**	15,309 9,468 **5,841**	15,309 9,394 **5,915**	13,788 9,245 **4,543**	13,788 8,136 **5,652**	13,778 6,952 **6,826**
85.0%	13,778 9,319 **4,459**	13,778 9,245 **4,533**	13,778 9,171 **4,607**	12,247 9,022 **3,225**	12,247 7,913 **4,334**	12,247 6,804 **5,443**
84.0%	12,247 9,096 **3,151**	12,247 9,022 **3,225**	12,247 8,948 **3,299**	標準ケース 12,247 8,874 **3,373**	10,716 7,488 **3,228**	10,716 6,379 **4,337**
83.0%	10,716 8,079 **2,637**	10,716 8,005 **2,711**	10,716 7,931 **2,785**	10,716 7,857 **2,859**	9,185 6,471 **2,714**	9,185 5,362 **3,823**
82.0%	10,716 7,339 **3,377**	9,185 6,988 **2,197**	9,185 6,914 **2,271**	9,185 6,840 **2,345**	9,185 5,731 **3,454**	7,655 4,345 **3,310**
81.0%	9,185 6,322 **2,863**	7,655 5,971 **1,684**	7,655 5,897 **1,758**	7,655 5,823 **1,832**	7,655 4,714 **2,941**	6,124 3,328 **2,796**
80.0%	7,655 5,305 **2,350**	7,655 5,231 **2,424**	6,124 4,880 **1,244**	6,124 4,806 **1,318**	6,124 3,697 **2,427**	6,124 2,588 **3,536**
79.0%	6,124 4,288 **1,836**	6,124 4,214 **1,910**	4,593 3,863 **730**	4,593 3,789 **804**	4,593 2,680 **1,913**	4,593 1,294 **3,299**
78%以下	4,593 3,271 **1,322**	4,593 3,197 **1,396**	4,593 3,123 **1,470**	3,062 2,772 **290**	3,062 1,663 **1,399**	支払なし

受診率での支払なし

精検受診率での支払なし

上段・・・Ⓐ	実質医療費削減効果 ※実行給付額から算出
中段・・・Ⓑ	支払条件に基づく本市支払額
下段・・・Ⓒ	本市便益　＝Ⓐ－Ⓑ

1　成果報酬型官民連携モデル事業の概要

2　なぜ、八王子市の大腸がん検診で実施するのか

3　受診率向上策として取り組む意義

4　成果指標・支払表の設定

5　モデル事業（介入プログラム）の内容

6　「八王子市」として取り組む意義

7　今後の展開、課題

対象者

大腸がん検診受診勧奨　12,000名

八王子市国保対象者のうち、便検査キット送付者（前年度大腸がん検診受診者）を除き、
その中から、受診勧奨効果の高い層を、民間事業者がAIを活用し抽出

精密検査受診勧奨　約3,500名

※大腸がん検診受診者のうち、要精密検査となった者、全てが対象

要精密検査となった者に対し、最初の勧奨窓口となる検診機関において、開発した精検受診勧奨資材（リーフレット）により介入。また、その後、未受診・未把握者への精密検査受診勧奨を実施

事業スケジュール

地域保健・健康増進事業報告

○　今回、本事業のために、プログラムを新たに組むのではなく、全ての地方自治体に報告義務のある「地域保健・健康増進事業報告」のスケジュールに基づく

○　「地域保健・健康増進事業報告」では、がん検診実施の翌年度に受診率を、翌々年度に精密検査受診率、及び、早期がん発見者数を報告する

予算計上・支払い

予算計上から支払いまでの流れ

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
○ 支払上限額を債務負担行為で予算計上	○ 事業実施 支払上限額： **0円（0債務）**	○ 国へ報告する大腸がん検診受診率をもとに成果報酬の支払い 支払上限額： **2,441千円**	○ 国へ報告する精密検査受診率及び早期がん発見者数をもとに成果報酬の支払い 支払上限額： **7,321千円**

平成29年度事業実施詳細、及び、評価

大腸がん検診受診勧奨　12,000名

4月　5月　6月　7月　・・・　11月　12月　1月　2月　3月

○ 送付日…６月20日

○ 送付数・・・12,162通

○ 送付日…11月17日

○ 送付数・・・オーダーメイド版　5,359通

汎用版　5,548通

計　10,907通

受診者：**3,264人**　＝　受診率：**26.8%**

∴　30年度支払上限額を支払

平成29年度事業実施詳細

精密検査受診勧奨　　約3,500名

4月　5月　6月　7月　・・・　11月　12月　1月　2月　3月

５月12日開催　検診事務説明会にて
全医療機関に周知・依頼

１月下旬以降随時送付

未受診・未把握者アンケートに同封

1　成果報酬型官民連携モデル事業の概要

2　なぜ、八王子市の大腸がん検診で実施するのか

3　受診率向上策として取り組む意義

4　成果指標・支払表の設定

5　モデル事業（介入プログラム）の内容

6　「八王子市」として取り組む意義

7　今後の展開、課題

八王子市として取り組む意義

市民の健康増進	大腸がん罹患者の早期発見・早期治療に結びつけ、市民の健康増進に寄与
事業の可視化	受診率、精密検査受診率の向上により、どれだけの医療費適正化効果があるか、事業実施効果をアウトカム（＝結果）として可視化
医療費の適正化	市が国民健康保険の保険者として、被保険者の医療費の適正化を図る
コスト削減による新たな事業展開	自治体として、義務的・固定的経費が増大する中、医療費の適正化を図る中で、削減された医療費分を異なる事業に展開
市のリスクなし	初期投資が不要（組成立ち上げには、当然マンパワーは不可避） 成果に達しない場合には、支払いがなく、市としてリスクが低い
シティプロモーション	資金提供者を巻き込んだ成果報酬型モデル事業は神戸市（糖尿病重症化予防）と並び、全国初の取組

1　成果報酬型官民連携モデル事業の概要

2　なぜ、八王子市の大腸がん検診で実施するのか

3　受診率向上策として取り組む意義

4　成果指標・支払表の設定

5　モデル事業（介入プログラム）の内容

6　「八王子市」として取り組む意義

7　今後の展開、課題

効果検証

「大腸がん検診・精密検査受診率向上事業」が３年後にどの自治体でも活用可能なテンプレート化できるよう、効果検証を行う

○　事業費と成果報酬の切り分けは必要か

○　成果指標は正しいか

→　受診確率の高い層の受診率を上げることが妥当か

→　早期がん発見者数は必要か

○　支払上限額と、事業実施効果（費用対効果）の妥当性

→　一社随契の妥当性。事業者間の競争は不可欠

水平展開

このモデルの核心は、市民、議会に説明できる成果指標が作れるかどうか

○　生活保護受給者、ひとり親支援対象者の自立支援、高齢者の認知症予防等々が、
水平展開の候補

○　精緻な成果指標があれば、第三者評価機関は不要

○　一自治体で組成立ち上げ、実施、事業評価を行うことは難しい
異なるテーマで各自治体で取り組み、国の協力を得ながら、事業をテンプレート化
それを公開し、他の自治体は活用していく

資金提供者

死亡率減少効果と、医療費削減効果が示されるのであれば、資金提供者は
民間に委ねる必要があるか。　国や都道府県が積極的に役割を果たすべきでは

関心をお寄せいただき、ありがとうございました

【問い合わせ先】

八王子市　医療保険部　成人健診課

℡　042-620-7428　Fax　042-621-0279

b450200@city.hachioji.tokyo.jp